

目標達成計画

作成日: 平成 24年 12月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時マニュアルの作成、火災訓練は行っているが、夜勤帯に於ける対応が課題であり、近隣住民の協力体制の構築が必要。また天災発生時の対応について、全職員が把握し対応方法を確認することが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を起こさない。 ・地域住民との相互協力体制について検討する。 ・天災発生時には、全職員が対応方法を理解し行動出来るように訓練する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火の元の注意の徹底。 ・コンセントの定期的な点検及び掃除。 ・地域住民参加の避難訓練実施。 ・様々な災害を想定した避難訓練の実施。 	12ヶ月
2	4	運営推進会議の内容のマンネリ化や家族の参加者が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の内容の充実を図る。 ・新たに近藤地区の役員の方に運営推進会議に参加して頂いているので、関係性を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや講習会等を組み合わせて、家族が参加しやすい環境を提供する。 ・ホームでの課題を話し合っていけるよう議題に提示を行う。 	12ヶ月
3	1	理念を職員に周知徹底する為、出勤時に目を通し確認するようにしているが、企業活動の根幹が理念であることをより認識していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が理念を理解、共有し、意識した上で日頃のケアに取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な理念に沿ったケアについての話し合いの実施をする。 	6ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた方針はあるものの、指針については具体的なものが出来ていない状態。重度化した場合その都度家族、かかりつけ医、ホーム側で話し合い、指針を決めている状態。終末期の対応について、勉強不足な部分もある。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がホームで安心して過ごして頂くに当り、終末期ケアの必要性を職員全体が認識を深める。 ・終末期に向けたホームの指針を具体化し、各職員が認識した上で、終末期のケアに自然に取り組めるような体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期ケアの研修参加及び勉強会開催。 ・各家族との終末期に向けた具体的な話し合い。 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。